



オルガン協奏曲の祭典

オルガンシリーズ Vol.16



G.F.ヘンデル

オルガン協奏曲 へ長調 HWV 293

Georg Friedrich Händel: Organ Concerto F-Dur Op. 4/5 HWV 293

J.S.バッハ

協奏曲 へ短調 BWV1056

Johann Sebastian Bach: Concerto f-moll BWV 1056

J.ラインベルガー

組曲 Op.149

Josef Gabriel Rheinberger: Suite Op.149

ほか

長岡聡季、廣海史帆 | ヴァイオリン

伴野 剛 | ヴィオラ 懸田貴嗣 | チェロ

永田由貴 | コントラバス

大平健介 | 指揮・オルガン

長田真実 | オルガン



2024

1.28 ① 14:00開演
(13:30開場)

会場 | パルナソスホール
Parnassus-Hall
姫路市立姫路高等学校音楽ホール

無料シャトル運行

生涯学習大学校駐車場 ⇄ ホール

一般: 2,500円 高校生以下: 1,000円 全席指定

チケット発売日 | 9月15日(金) / 友の会: 9月13日(水)

姫路市文化国際交流財団チケットオンライン ▼

※24時間購入可能 (発売初日は10:00受付開始)



パルナソスホール 079-297-1141

姫路キャスパホール 079-284-5806

※営業時間10:00~17:00 (発売初日は11:00受付開始)

ローソンチケット Lコード: 52386

Organ Series Vol.16
Concerto Festival



お願い

※未就学児の入場はご遠慮ください。
※公演内容等が変更になる場合がございます。予めご了承ください。
※車椅子席は、パルナソスホールまでお問い合わせください。

主催 公益財団法人姫路市文化国際交流財団
共催 姫路市

パルナソスホール TEL.079-297-1141
〒670-0083 兵庫県姫路市辻井9丁目1番10号
HP <https://parnassushall.himeji-culture.jp>



姫路市
文化国際
交流財団

音楽のまち
ひめじ

演奏会に寄せて

オルガンシリーズが第10回を迎えた2年前、その記念としてバルナソスホールのオルガンと弦楽アンサンブルの共演企画「オルガン協奏曲の祭典」が実現し、今回はその第2弾となります。オルガニストがオーケストラや弦楽アンサンブルと共演する「オルガン協奏曲」は、時代を越えて今なお新しい作品が書かれています。オルガンシリーズでは当ホールのオルガンに合ったバロック時代のバッハやヘンデルの作品を中心にお届けいたします。弦楽のみなさんの情熱溢れる音楽の息づかいを感じながら、オルガンも生き生きと音楽で語り、掛け合い、協奏します。どうぞお楽しみに！

長田真実 バルナソスホールオルガニスト

姫路市出身。東京藝術大学音楽学部器楽科オルガン専攻及び同大学院修了。文化庁新進芸術家海外研修生として、シュトゥットガルト音楽演劇大学に留学し、ドイツ国家演奏家資格を取得。国内外の国際コンクールで入賞し、2015年のゴットフリート・ヰルバーマン国際オルガンコンクールでの優勝以来、ドイツ国内及び日本各地で演奏活動を展開。ドイツ・ゴスラー近郊の街グラウホフにある歴史的オルガンで録音されたCDをリリース。現在は姫路バルナソスホールオルガニストとして、演奏会の企画運営、小学校でのアウトリーチ事業、オルガン一日体験や講座など、オルガンの普及に力を入れている。



長岡聡季 Violin

東京藝術大学音楽学部附属高校、同大学、同大学院修士課程を経て、室内楽科博士後期課程修了。博士号（音楽）取得。台湾にて4度のリサイタルを開催する他、欧州各国の音楽祭へ招かれるなどヴァイオリニストとして国際的に活動。横浜シンフォニエッタのシーズンメンバーを務め、各地のオーケストラにてゲスト・コンサートマスターを務める。オリジナル楽器奏者としてもバッハ・コレギウム・ジャパンなど、国内の主要な団体に演奏している。東京藝術大学室内楽科非常勤講師を経て、現在北海道教育大学岩見沢校音楽文化専攻准教授。



懸田貴嗣 Cello

東京藝術大学院修了後、ミラノ市立音楽院で学ぶ。伊ボンポルティ国際古楽コンクール・アンサンブル部門で第1位、聴衆賞を受賞。リクレアツィオン・ダルカディア、ラ・ヴェネシアーナ、バッハ・コレギウム・ジャパンのメンバーとして、世界各地の音楽祭に招かれている。これまでエマ・カークビー、ミカラ・ベトリ、エンリコ・オノフリなど多くの著名なソリストと共演している。CD「ランゼッティ/チェロ・ソナタ集」で文化庁芸術祭優秀賞を受賞。第34回国際古楽コンクール山梨、下田国際コンクール審査員を歴任。



廣海史帆 Violin

東京藝術大学音楽学部を経て、同大学大学院を修了。これまでに、佐々木晶子、久合田緑、田中千香士、原田幸一郎、若松夏美、アレッシンドロ・モッチアの各氏に師事。第22回古楽コンクール〈山梨〉最高位、栃木・蔵の街音楽祭賞を受賞。2007、08年、パリ・シャンゼリゼ管弦楽団より奨学金を受け、サント・ヨーロッパ音楽アカデミーに参加。NHK-FM「名曲リサイタル」、旧奏楽堂デビューコンサート等に出演。バッハ・コレギウム・ジャパン、オーケストラ・リベラ・クラシカ、横浜シンフォニエッタ等の公演・録音に多数参加している。



永田由貴 Contrabass

中高の管弦楽部でコントラバスをはじめる。東京藝術大学卒業、同大学院修了。小澤征爾音楽塾、サイトウキネンフェスティバル「子供の為の音楽会」「青少年のオペラ」等参加。コントラバスだけのアンサンブル「Black Bass Quintet」メンバーとして、これまでに3枚のCDをリリース。現在フリーランスのコントラバス奏者として、オーケストラを中心に様々なジャンルで活動している。聖徳大学音楽学部兼任講師。



伴野 剛 Viola

東京藝術大学音楽学部卒。藝大フィルハーモニア首席奏者、NHK交響楽団契約団員を経て、現在は横浜シンフォニエッタ、菖蒲弦楽三重奏団、カルテット・オチェアノ（ピリオド楽器）などのメンバー。バロックから非クラシック音楽まで時代やジャンルを問わないオールラウンダーであり、各地のオーケストラ客演首席奏者としても幅広く活動。ラ・フォル・ジュルネ（フランス・ナント市）、アルジェリア国際音楽祭など各地の音楽祭にも招かれた。



大平健介 Conductor & Organ

東京藝術大学及び同大学院卒業。2010年よりDAAD給費留学生として渡独。ヴェルツブルク及びミュンヘン音楽大学にて教会音楽と現代音楽を学ぶ。2013年国家演奏家資格取得、文化庁新進芸術家海外研修員。2016年IONニュルンベルク国際オルガンコンクール優勝。以後2020年まで、シュトゥットガルト・シュティフツ教会専属オルガニストとして教会内での多岐に渡る音楽プロジェクトに携わった。2021年に日本へ完全帰国し、現在は日本キリスト教団聖ヶ丘教会首席オルガニスト及びアンサンブル室町芸術監督を務める。